



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

No.97 2021年9月号

倉敷医療生活協同組合

コープリハビリテーション病院

〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60

TEL 086-444-3212

老人保健施設 老健あかね

TEL 086-446-6541

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。



車に乗り込むMさんを見届ける筆者



自宅に帰る日のMさん。筆者と同僚、川崎リハビリテーション学院の実習生たちと

【小さな達成感の積み重ねを大切に】
 そういった患者様に対して当院では2つのことをカンファレンスや回診時に多職種や患者様も交え話し合います。
 ①患者様に合ったワクワクするゴールを設定します。
 ②その患者様があと1歩で成せるであろう課題を決め、それだけに集中して達成する。
 当院では「小さな達成感の積み重ね」として実施しています。

【脳卒中による運動麻痺と高次脳機能障害】
 回復期リハビリ病棟は脳卒中の発症や転倒等で受傷し骨折をした患者様が再び家に帰る事を目標に入院されます。
 脳卒中になると身体の半身が動きづらくなる運動麻痺が生じます。更に多くの割合で記憶力や注意力の低下、今いる場所や時間等が分からなくなってしまう見当識の低下など高次脳機能障害も呈します。
 このような障害により意欲が低下し、リハビリがなかなか進まないことがあります。
 【小さな達成感の積み重ねを大切に】



廣澤医療ソーシャルワーカー(右)

今年も連携病院である倉敷中央病院から医療ソーシャルワーカーが来訪されました。年3回の来訪時に、紹介患者さんの様子など情報交換しています。倉敷中央病院の医療ソーシャルワーカーから転院相談をいただく機会が増えました。入院期間が短くなっているなかで、短期間に、患者さんの背景や経済状況をアセスメントし転院先に申し送っていただくことは、連携病院にとってもありがたいことだと思っています。特に経済的問題は解決に時間を要することが多いため、早期介入が可能になります。

紹介患者さんのなかには、生活自体がぎりぎりだった方もおられます。社会的に経済的に、なんらかの問題を抱えながら生活していた人が、病気になることでこれまでの生活のしづらさが明るみになった事例がたくさんあります。急性期病院で問題が発見され、連携病院でできる限りの解決を行い、地域につなぐ。患者さんにとっては、初めて出会う医療・福祉の専門職の数々。患者さんのなかには「病気になるまでよかったわ。いい人がいっぱいいたわ」と言われた方もおられます。
 急性期病院から連携病院へ、そして地域へ。医療ソーシャルワーカーの連携は患者さんが暮らしやすくなるための支援そのものといえます。

生活を見据えたソーシャルワーカーの連携 倉敷中央病院とコープリハ

医療福祉相談・連携室長 田辺紀子

【ワクワクゴールで意欲アップ】
 今回、担当した患者様は脳出血と開頭手術にて入院。その後2週間程度で当院に転院された70代の女性です。転院当初は左半身の麻痺に加え、重度の高次脳機能障害により1人で寝返ることもできない程の身体能力、また上記のような意欲の低下が見られました。

そこでワクワクゴールを元々の生きがいであった「庭に咲いてある花の手入れ」や「ご家族との会食」を再び実現するにしました。そのゴールに到達するまでの小さな課題を1つずつクリアすることが喜びとなり向上心の高まりに繋がりました。結果として入院期間の後半には、今まで苦労していた寝返り・起き上がり・立ち上がりなどが自立し、日時や場所や人の認識など高次脳機能が飛躍的に回復したと考えます。



自宅へ戻ってしばらくしてのMさんとお孫さん「やっぱり家がええわあ〜」とご本人

「やっぱり家での生活は最高じゃー」
 二度の脳卒中を乗り越えたMさんのリハビリ記録
 コープリハビリテーション病院 リハビリ科 副主任 岩本雅司

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

歯科研修医 リハビリ回診見学

歯科医師 山崎美佳

先日は歯科研修医が病棟回診に随行しました。全身を理解し有病者に対処できる基礎知識を

得るために、病院歯科での研修は極めて有意義です。研修期間があつたという間に過ぎて行きました。関係者の皆様、貴重な時間を頂き誠にありがとうございました。さようなら



写真1：虫歯で噛めない、話しにくい状態



写真2：かぶせと入れ歯が入り、しっかり噛める状態

理由で、現時点では口から物を食べない方がいます。



写真3：高梁市の自宅に帰る1さん最後のリハビリ回診に義歯の噛み心地をきく筆者と2名の歯科研修医先生

思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、まずは、口から食べる事へのリハビリ中の患者さん。歯医者の出番です。食べられるように虫歯の治療をして被せを入れたり、入れ歯を入れたりします(写真1、写真2)。口腔内では、食べ物を小さく砕き、飲み込む準備をします。また、入れ歯や歯があることで口腔内の空きスペースを補い、弱い舌圧でも食べ物をのどに送り込むことができます。

①噛みしめの動作が反復して行いやすくなり、口回りの機能の向上につながります。機能が落ちて、口がぼかんと開いたままだと口腔内や気道が乾燥し、感染を起こしやすくなります。②発音が明瞭になり、周囲とのコミュニケーションがとりやすくなります。③歯石(歯ブラシでは取れない、硬くなってしまった汚れ)や歯垢(柔らかい汚れ)を除去することで、肺炎の予防につながります。さらに、奥歯でしっかり咬むことで転倒のリスクが下がったというデータもあります。このように、歯を使っていてもいなくても、歯医者が必要となる場面があるのです。

老健あかね「LIFE」への取り組み

老健あかね 介護福祉士 大坂麻友



自分たちのサービスを科学的介護に当てはめる同僚

LIFE(ライフ)とは科学的介護の推進(介護のビッグデータを収集して、自立支援・重度化防止に向けて効果的な介護サービスを提供)を目指すもので、そのビッグデータを収集するデータベースをいいます。

今年度の介護報酬改定の柱で、リハビリマシメント・栄養・口腔衛生・排泄・褥瘡等8項目の計画や評価情報を利用者の方全員分

また、対象者の方のものを期日までに厚労省へ提出しなければなりません。職員が一丸となって取り組みましたが手探り状態で、遅い時間まで残ってラ

イフに追われる毎日でした。

カルテ以外にも情報を多職種

から収集し、整理しながらパ

ンコンへ入力するのでかなりの時

間を要しました。時には徒労感

を覚えることもありましたが自

然発生的に指南役・リーダー役・

入力役など役割分担ができたこ

とが功を奏したのか、何とか期

日までにデータ提出終了。あ

かね職員の底力を発揮できた

と思います。また、多職種との

情報交換の機会が増え、利用者

さんのことをより理解でき、全

体が更に明確になりました。

今後継続するルーチンワー



リハビリ病棟の回診メンバーと筆者(右から3人目)



お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212(代表)
受付時間 平日 9:00~16:30
土曜日 9:00~12:00
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町1-60
ホームページ: http://coopreha.jp/
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹舘 勝人

診療表					老健あかね [086-446-6541]
コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30~12:00 [086-444-3212]					通所リハビリ 9:00~16:00
診療時間	外来	装具外来	歯科	短時間通所リハビリ	短期集中健幸アップ教室
午前 9:00~12:30		14:30~15:00	午後	9:00~16:50	9:30~11:00
月				○	○
火	渡辺	○(予約制)	山崎(予約制)	○	○
水	飯塚			○	○
木	太田		山崎(予約制)	○	○
金	小田			○	○
土					○

医療福祉相談・連携室		
相談受付時間	平日	9:00~12:00 13:30~16:30
	土曜日	9:00~12:00
	日・祝日	休み

新入職員 紹介



コープリハビリテーション病院
医療福祉相談・連携室 事務
末安美穂



コープリハビリテーション病院
3階病棟 介護士
大里美笛

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。